

コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2020年12月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2020年12月30日時点

基準価額

14,936 円

（前月末比）

+390 円（2.68%）

純資産総額

9.1 億円

（前月末比）

+0.2億円（2.71%）

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	2.68%
3ヵ月	11.12%
6ヵ月	18.87%
1年	13.31%
3年	9.29%
5年	39.47%
10年	-
設定来	49.36%

分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2016年12月	0円
2017年12月	0円
2018年12月	0円
2019年12月	0円
2020年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンス30ファンドマザー	91.5
静岡銀行株式	7.6
現金等・その他	0.9
構成銘柄数	32社

※2020年12月30日時点



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	20.3%
化学	15.4%
電気機器	13.4%
サービス業	11.7%
輸送用機器	6.5%
陸運業	4.2%
卸売業	4.2%
情報・通信業	3.6%
金属製品	3.4%
小売業	3.4%
医薬品	3.3%
食料品	3.3%
建設業	3.1%
繊維製品	1.5%
その他	2.7%

未来コンセプト別比率

生活ソリューション	18.0%
ウェルネス	14.6%
精密テクノロジー	14.2%
新素材	10.8%
快適空間	10.5%
資源・エネルギー	7.3%
未来移動体	6.5%
ライフサイクル	6.2%
地球開発	6.0%
社会インフラ	3.2%
その他	2.7%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ヤマトHD	生活ソリューション	「クロネコヤマトの宅急便」で親しまれる宅配便業界のトップ	4.2%
2 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.9%
3 カカクコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.9%
4 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.8%
5 SMC	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.6%
6 マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる	3.6%
7 ホンダ	未来移動体	夢と技術で、難局をチャンスに変える	3.6%
8 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	3.6%
9 ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.6%
10 ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku, 世界を代表する精密加工装置メーカー	3.5%

※2020年12月30日時点

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

12月のファンドの月間リターンは+ 2.68%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ (コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

12月の内外株式市場は、11月の世界的な株価の大幅上昇を受けての展開でしたが、新型コロナワクチンの投与開始や米国で追加経済対策がまとまったことなどを好感し、年末にかけて一段高となりました。国内株式市場も、年末には日経平均株価で27,000円台を突破し30年ぶりの高値を更新しました。

当ファンドも運用開始以来の最高値を更新し、月間で+2.90%の上昇、投資先31銘柄中20銘柄が値上がり、11銘柄が値下がりとなりました。

同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+2.97%、日経平均株価は+3.82%の上昇でした。年初来では、当ファンドが+16.74%、TOPIX+7.39%、日経平均株価+16.01%です。

当ファンドの株式の組入比率は、97.3%と高位をキープしました。個別銘柄の月間騰落率ではデンソーが20%を超える上昇、他にシスメックス、KADOKAWA、丸紅、コマツ、セブン&アイHD、旭化成（上昇率順）が10%を超える上昇となりました。上場来高値を更新した銘柄もディスコ、東京エレクトロン、シスメックスなど7銘柄となりました。

2020年、コロナ禍で経済も生活も大混乱となった一年でしたが、おかげさまで当ファンドは運用開始以来の高値も更新することが出来ました。

2021年も気持ちを新たに頑張っていきたいと思います。引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋谷健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

◎ (9468) KADOKAWA

12月はKADOKAWAの株価が13.14%上昇しました。出版（紙の書籍と電子書籍）、アニメ、ゲーム、教育の4つの事業を中心に中長期的な利益成長局面にある会社ですが、昨年末にかけては、コロナ禍における巣ごもり需要増大によるプラス面が目立ったと思われます。

ところで、KADOKAWAと埼玉県所沢市が共同で進める「ところざわサクラタウン」が昨年11月にグランドオープンしました。ところざわサクラタウンは、日本最大級のポップカルチャーの発信拠点として、イベントスペース、体験型ホテル、ショップ、レストラン、ミュージアム（角川武蔵野ミュージアム）などを展開するほか、KADOKAWAの新オフィスや書籍製造・物流工場も備える複合施設です。デジタル環境の進展で、日本が得意とするマンガ、アニメ、オタク文化がグローバルで広がるなか、若年層を含め幅広くKADOKAWAのファンを広げていく一大拠点になっていくと思われます。

シニア・アナリスト 上野 武昭

◎ (9783) ベネッセホールディングス

12月はベネッセの株価が8.17%下落しました。

11月30日の終値で、グローバルで多くの機関投資家や投資信託のベンチマークとして採用されているMSCI指数（MSCI、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナルが算出・公表する指数）から除外されたことによる流動性低下懸念や、業績回復スピードが緩やかであることなどが懸念されたようです。

11月6日に発表した2021年3月期第2四半期業績は売上高が前年同期比7.0%減、営業利益は44.0%減と減収減益となりました。

「進研ゼミ」などの通信教育事業は新規、継続会員数が順調に推移して増収増益となりましたが、大学入試模擬試験「進研模試」や英語4技能検定「GTEC」など学校向けの教育支援事業、学習塾・英語教室事業、介護・保育事業、ベルリッツ事業が新型コロナウイルスのマイナス影響を大きく受けました。しかしながら、売上高、営業利益ともに第2四半期（7-9月）は第1四半期（4-6月）比で改善傾向にあり、ベルリッツを除いては下期に向かって回復傾向が続く見通しです。

決算発表と合わせて2021年度からスタートする新中期経営計画が発表されました。

ポイントは、「コア事業の進化」と「新たな成長に向けた新領域への挑戦」です。2022年度までに新型コロナの影響からのV字回復を図り、2025年度に向けて更なる持続的成長を目指すとのこと。

2021年度までは新型コロナの影響が残りそうですが、デジタル・オンライン・教室、を融合した学習環境の整備や、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の新エリアへの進出による新規開設数増加、新規事業領域（海外での介護事業、大学・社会人への就職支援・学習支援、学び直し・キャリア支援など）の拡大など、着々と歩を進めていきます。

シニア・アナリスト 末山 仁

◎ (3407) 旭化成

旭化成は、12月1日にサステナビリティ説明会を開催しました。

同社はサステナビリティに関して2つの大きなテーマを掲げており、「Care For Earth」としてカーボン・ニュートラルでサステナブルな世界の実現を、「Care for People」として「ニューノーマル」での生き生きとした暮らしの実現を、それぞれ目指しています。

なかでも注目したいのは、独自技術によるアルカリ水電解システムでの水素の製造です。福島県浪江町にある「福島水素エネルギー研究フィールド」では世界最大規模のシステムによる水素の製造供給を通して技術開発を進めており、水素社会の実現に向けて重要な役割を担っていると考えており、引き続き注目していきたいです。

尚、同社に関しては、10月20日に宮城県延岡市にある子会社で発生した火災により一部の自動車向け半導体の供給に支障をきたしており、短期的にはこの影響を注視する必要がある点、最後に申し添えておきます。

アナリスト 原嶋 亮介



企業との対話

【コモンズ30塾 企業との対話 投資先企業信越化学工業をお迎えして】

12月15日、投資先企業 信越化学工業さまにご協力いただき、コモンズ30塾を開催いたしました。

1926年に設立された同社は、100年近く成長を続けていると言っても過言ではありません。
長野県の豊かな水力が生み出す電力と 新潟県親不知の大地から採れる石灰石。
この2つの自然の恵みから、化学肥料・石灰窒素を生産する会社として発足し、いまやグローバル企業として、海外売上高比率も70%を超え、半導体のシリコンウェハー、塩化ビニル樹脂など世界シェア1位の事業が複数あり、各事業で世界トップシェアを目指しています。

当ファンドは、30年目線で外部環境の変化を乗り越え、進化を続ける「強い企業」に投資をしています。同社は、リーマンショック前まで13期連続で増益（営業利益）を続け、また、リーマンショック後、2011年3月期から10期連続で増益を達成しました。

まさに、大きな変化を次々と乗り越え成長を続けてきたわけですが、コモンズ30マザーファンドでは、この10期連続増益が始まる2010年から投資を続けています。

この強さの秘訣について、担当アナリストの原嶋は「本気で進出した事業は”勝ちきる”までやる」ことや「外部公表した業績予想数値は必達ポリシー」、そして「市場に対する深い洞察」等がうまく循環し続けていることを挙げています。

一方、多くの方が、同社が日本を代表する超優良企業であることはご存知だと思いますが、では、具体的に代表的な製品はなにかと聞かれると即答できる方は多くないと思います。

実は、私たちの毎日に身近なスマホや車をはじめ、生活回りの多くのところに同社の製品は組み込まれています。

今回、ご登壇いただいた足立さまからは、改めて同社の製品がどのように社会に活用され、かつ圧倒的な競争力を維持し続ける秘訣をたっぷりお話しいただきました。

当日の足立さまのお話しとトークセッションはこちらからご覧ください。

<https://youtu.be/8KgUxWL-PgY>



トークセッションや参加者からの質問では、ESG、特に、環境への取組（二酸化炭素の排出を減らす取組）に関心が寄せられました。生産段階での排出抑制はもちろんのこと、排出減につながる製品の提供にも取り組まれているとのことでした。

今回の対話を通じて、初めて同社の強さを理解したという参加者も多くいらっしゃいました。

持続的な成長を続ける同社への期待が高まるセミナーとなりました。

マーケティング部 福本 美帆



ちょっといい話

【明けておめでとうございます！】

12月、皆さまのおかげを持ちまして、『コモンズ30+しずぎんファンド』の第6期の決算を迎えることが出来ました。

改めて役職員一同、心から感謝申し上げます。2020年の年間パフォーマンスは+13.31%となり、市場全体を表すTOPIX（東証株価指数）配当込みの7.39%を大きく上回る結果となりました。

2021年も引き続き、ご期待に沿えるように頑張っております。

さて、目の前のコロナ禍は、ウィルスが新型ワクチンが開発されたことに最後の抵抗をしているようにも思えます。今回のパンデミックはこの冬が最後の正念場ではないでしょうか。

2021年はそんなところからのスタートになるのでしょうか。

一方で、昨年末、日経平均株価は30年ぶりの高値を更新して終わりました。確かに「価格」は、30年前に戻りました。しかし、30年前の東証の上場企業数は1752社、それが昨年末には3796社となっていますので株式市場の顔触れは、実は大きく変わっています。30年前は、ソフトバンクも、ファーストリテイリングもエムスリーも上場していませんでした。

日本電産も小型株でした（ちなみにこの30年で日本電産は時価総額を約70倍にしています）。これからの30年、新しい時代をけん引する素晴らしい企業が沢山出てくることでしょう。

また、30年前の個人投資家と今の個人投資家にも変化が見られます。世代がかわりコツコツと長期的な資産形成に取り組む若年層も増えてきました。世代が変われば投資に対する価値観も違うはずです。

東日本大震災やコロナ禍を子供のころから経験した世代は、ESGネイティブだと感じています。つまり「価格」は戻っても、企業も投資家も大きく変わっているので、同じ道に戻ったわけではありません。

2020年は長期的な時間軸でみて、新しい起点になったはずです。

2021年は夜明け前の一番暗いところからのスタートかもしれませんが、きっと新しい景色が待っていると思います。当社は、そんな新しい景色を次世代のためにワクワクする景色にしていくことに微力ながら頑張りたいと思っています。

2021年が皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますように！

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券 業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○			



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-3221-8730
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>